

報道各位

マレーシア船用工業セミナーの開催結果について

一般社団法人 日本船用工業会

当会は、日本財団の助成事業として、7月30日（火）～8月1日（木）、マレーシア・クアラルンプールにて開催される Malaysia Maritime Week 2024（以下、MMW24）に参加し、展示及び Offshore Support Vessel をマレーシアで建造するプロジェクト（以下、Safina PJ 2）に関する会議を行った。

当会からは木下会長、久津副会長、小田副会長、ト部海外市場開拓検討WG座長と会員企業11社が参加し、日本パビリオン内に参加企業各社のブースを設けた。会期初日にはオープニングセレモニーがあり、マレーシアの YAB DATO' SERI ANWAR BIN IBRAHAM / PRIME MINISTER（以下、アンワル イブラヒム首相）、YB LOKE SIEW FOOK MINISTER of TRANSPORT MALAYSIA より、マレーシア国内の流通の約90%は船舶に支えられている他、防衛セキュリティ、資源開発、2050年に向けたゼロエミッション等あらゆる局面で海事産業を大変重要視しているため、予算取りをしっかりと確保する準備がある。マレーシア船主協会を通じて政府に報告して欲しい等のスピーチが行われた。

スピーチ終了後、アンワル イブラヒム首相が日本パビリオンを訪れ、当会小田副会長（潮冷熱株）より「日本財団サポートの下にパビリオンを形成し、オフショア船舶向け製品や、カーボンニュートラルに貢献する機器をPRしている」旨の説明を行った。その後首相との Tea Party に招待され、更なる意見交換を行った。

会期3日目の8月1日（木）にはペトロナス社 LNG Fleet Management 部門の Khairul Faizi Mohamad / General Manager が日本パビリオンを訪れ、各出展社との挨拶を交わした。

午後からは Safina PJ 2 で OSV を建造する可能性のあるマレーシアの OSV 船主11名、マレーシア OSV 船主協会（以下、MOSVA）と当会会員企業11社とミーティングを行った。当ミーティングでは、Safina PJ 2 の最新状況、OSV 向け機器の PR、機器性能説明、アフターサービス、ファイナンス、供給体制等について活発な意見交換会が行われた。

意見交換終了の後、当会正副会長とマレーシア船主協会（以下、MASA）とで2019年に締結した MoU のフォローアップとして、具体的にどのような情報交換をすることが双方にとってメリットがあるか等、意見交換を行った。

当会は、当結果や情報を委員会やWGを通じて会員企業に共有し、オフショア事業参入促進の方法等について引き続き検討を行うこととしている。

【概要】

＜MMW24展示会＞

1. 開催日時：7月30日（火）～8月1日（木） 9:00～17:00
2. 開催場所：Kuala Lumpur Convention Centre, Level 3, Hall 2 & Hall 3
3. 日本ブース位置：E1
4. 参加企業：（11社）

イーグル工業株、潮冷熱株、かもめプロペラ株、川崎重工業株、ダイハツディーゼル株、中国塗料株、ナカシマプロペラ株、BEMAC株、三井E&S造船株、三菱重工エンジン&ターボチャージャ株、ヤンマーパワーテクノロジー株

【MMW24 開催模様及び意見交換会の様子】



(当会ブースの様子)



(イブラヒム首相スピーチの様子)

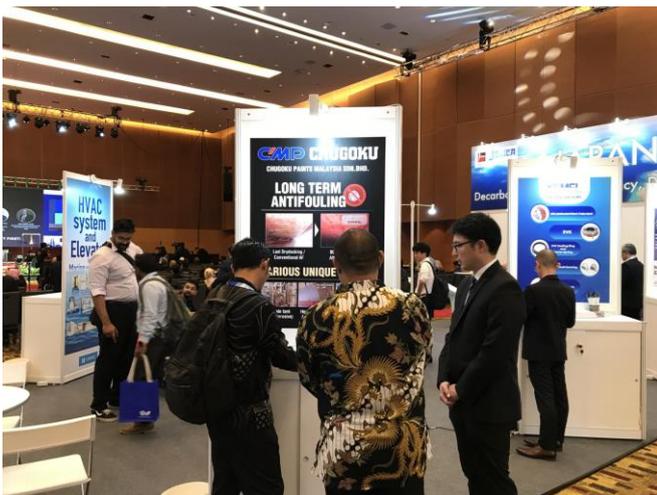


(小田副会長、首相への出展説明の様子)





(PETRONAS社GMとの記念撮影の様子)



(出展者アテンドの様子)



(出展者アテンドの様子)



(MOSVAとの意見交換会の様子)



(MOSVAからSafina PJ2説明の様子)

(MASAとのMoUフォローアップミーティングの様子)



以上

——本件に関する問い合わせ先——

一般社団法人 日本船用工業会：業務部 石田・水谷

TEL: 03-3502-2041

E-mail id : ishida@jsmea.or.jp (石田), mizutani@jsmea.or.jp (水谷)